

平成31年度
公立高校
入試対策

能開センター

学校
独自検査
対策充実

新潟県

公立高受験



合格実戦演習講座

① 5教科バランス
よく学習する!

テストを活用して常に自分の苦手な教科や分野を知り、すぐに弱点を克服すること。このサイクルを徹底して継続して行き、着実に実力を上げていく。

② 入試当日100%の
パフォーマンスを発揮する!

時間配分、休憩時間の使い方、準備の仕方など多くの経験を積み自分なりの本番への臨み方を確立する。

③ 学校独自検査のあらゆる
パターンに対応する!

筆答検査は4年間で傾向はさほど変わらず。しかし作文は1年目～4年目でそれぞれ全く違うパターンの出題でした。だから、あらゆるパターンの問題に対応できる準備が必要です。

9月
開講!

10月以降からの参加可能

※定員になり次第
締め切ります。

平成30年度合格実績

受験高校にて合格者数上昇!

新潟高校

平成29年度

75名 82名

新潟南高校

平成29年度

26名 36名

新潟江南高校

平成29年度

17名 27名

新潟中央高校

平成29年度

11名 19名

講座概要

この講座は、新潟県公立高校入試を突破するために、実戦演習を行います。そして、内申点を加味した総合得点で、自分の今の位置を知ります。各高校の合格最低ラインは、能開が長年に渡るデータの蓄積と分析によって算出しました。そして学校独自検査にも対応しています。この講座の案内を熟読の上、安心して受験に向けてお子さまを預けてください。

【実施会場】

能開センター高校部 白山駅前校
能開センター女池校
能開センター新潟校

1日目対策

5科目テスト(新潟県入試問題傾向)

5教科のテストを行い、内申点との総合得点によって相対的な位置づけを知り、課題を見つけ克服する機会を毎週作ります。

曜日・時間:土曜日 9:00~13:30

(隔週で演習と
実戦を交互に行います。
※演習は成績帳票なし)

場所:能開センター高校部白山駅前校
能開センター女池校

2日目対策

学校独自検査

筆答検査記述&作文(その場で制限時間を設けて記述および作文を書き、添削されたものを返却します。)

曜日・時間:日曜日 9:00~12:00

場所:能開センター新潟校

【実施会場】

能開センター 青山校

1日目対策

5科目テスト(新潟県入試問題傾向)

5教科のテストを行い、内申点との総合得点によって相対的な位置づけを知り、課題を見つけ克服する機会を毎週作ります。

曜日・時間:土曜日 9:00~13:30

(隔週で演習と
実戦を交互に行います。
※演習は成績帳票なし)

場所:能開センター青山校

2日目対策

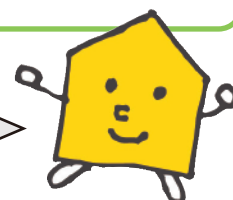
学校独自検査

筆答検査記述&作文(その場で制限時間を設けて記述および作文を書き、添削されたものを返却します。)

曜日・時間:日曜日 9:30~12:30

場所:能開センター青山校

お好きな実施会場をお選びください。



■公立高受験合格実戦演習講座 スケジュール

期	日程			期	日程		
6 (9月)	合格もぎ	8/19(日)		9 (12月)	実戦週	12/1	12/2
	演習週	9/8	9/9		演習週	12/8	12/9
	実戦週	9/15	9/16	10 (1月)	合格もぎ	1/6(日)	
	演習週	9/22	9/23		実戦週	1/12	1/13
7 (10月)	実戦週	9/29	9/30		演習週	1/19	1/20
	演習週	10/13	10/14	11 (2月)	実戦週	1/26	1/27
	実戦週	10/20	10/21		演習週	2/2	2/3
8 (11月)	合格もぎ	10/27(土)		12 (3月)	実戦週	2/9	2/10
	演習週	11/10	11/11		演習週	2/23	2/24
	実戦週	11/17	11/18				
9	演習週	11/24	11/25				

※12期(3月)分の授業料は1回分のみ(4,320円)となります。

■9月からのご受講とお申し込みについて

10月以降からの参加も可能です。なお、定員に達し次第、締切となります。

校舎

能開センター新潟校・女池校・青山校・高校部白山駅前校

費用

月額…授業料 **12,960** 円(税込) 授業料は3ヶ月目からは各月の初日に口座振替となります

ただし11月・1月のみ **14,460** 円(税込)(合格もぎ実施のため。)

上記授業料に合わせて、入会金 21,600 円(税込)と1月あたり施設関連諸費 2,600 円(税込)が必要となります。

お申込み

別紙の申込用紙にご記入・ご捺印の上、各校受付までお持ちください。

お問い合わせ先

[能開センター新潟校] TEL 025-245-3328

[能開センター女池校] TEL 025-282-1311

[能開センター青山校] TEL 025-201-5011

[能開センター小針中央校] TEL 025-234-4737

講座のねらい

新潟県の入試問題傾向のテストを受け、**実戦力**を身につけ、成績の分析と弱点克服により、**実力UP**も図る。

この講座を活用した学習のサイクル



テスト

- 実戦力をつける
- 試験会場の空気に慣れる
- 競争の中で鍛えられる
- ▶ テストごとに成績順のクラス編成

このサイクルで
力をつけて
いきます

克服

弱点のリストアップ

- ▶ 1週間の学習の中で弱点を克服していく

分析

- 1100点満点の結果を知る
- トータルでどの教科を優先して学習すべきかを考える
- どのテーマを優先して克服すべきかを考える



この講座の成績帳票

毎回の実戦週のテストにて
左のような成績表が返却されます。

- ① 5教科+筆答検査Aの得点と推移
- ② 1100点満点に換算したとき(内申点を加味する)の合否判定(能開センターで決定したライン)
- ③ 各教科の得点推移

筆答検査および作文のポイント

その1

要求されることに対し、
「考える」ことを通して、
論理的に**「書く」**ことです。



その2

「正解を出す」こと(だけ)ではなく
考える・書く**習慣**をつけることです。

<考える>ための対策

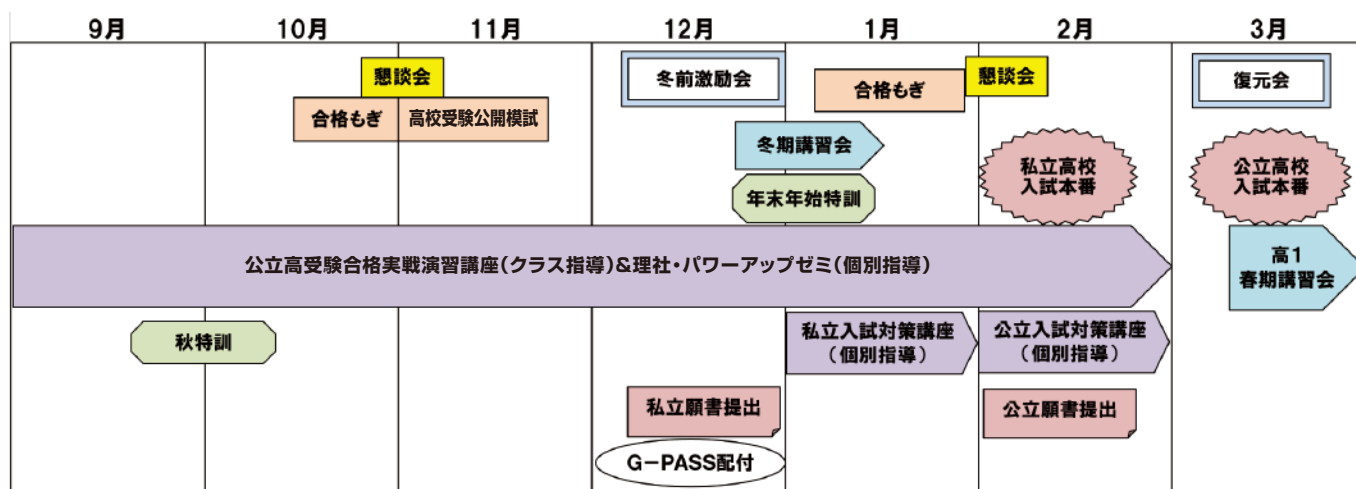
今まで見たことのないような問題に対して、どれだけ根気強く考えられるか。ただ、多くの問題をこなせば良いということではありません。どれだけ多くの時間「考え抜いたか」ということだけが、この力を伸ばします。正解を得ればOKではなく、正解を獲得するまでのプロセスをどれだけ自分の力で歩めるか。この対策においては、なるべく自分の力で突破できるように指導していきます。

<書く>ための対策

まずは「書いて」みることです。きれいな、文句のつけようのない文章を求めるあまり、手を動かさないということが一番良くありません。まず、うまくいかなくても書くことが大事です。初めから美しい文章など書けません。だから、添削してもらって、それを見て<清書>することが一番力をつけます。この対策においては、「書く⇒添削してもらう⇒清書する」この流れで指導していきます。

これから、いよいよ受験という未知の領域へ足を踏み出します。これはとても不安なことです。「果たして今の勉強の仕方間違っていないか?」「今の勉強量で足りているか?」「今の内申点で本番どのくらい点を取ればよいか?」入試が近くなればなるほど、こういった不安が頭をよぎります。そこで、我々能開のスタッフとのコミュニケーションを多くとることで不安材料もどんどん減っていきます。実戦+学習カウンセリング(コーチング)で万全の受験勉強の体制を整えて、本番に向けて一緒に走っていきましょう。そして担当者がご家庭にお電話をし、現在の成績についての学習カウンセリングと、今後の学習についてのアドバイスの機会をつくっていきます。(月2回)

1年の流れ



懇談会

11月上旬と2月上旬を予定しています。

秋特訓・年末年始特訓

特訓によって、多くの生徒がこれまでも自分の限界を超えて大きく成長しました。是非、参加してください。詳細は別途案内を配付します。

冬期講習会

すべての単元が終了し、入試前、最後の総復習の機会です。ここで頭の整理整頓を一気に行うことによって、より実戦演習での得点もアップします。

私立・公立入試対策 (個別指導)

苦手分野が1月あたりでよりはっきりする頃です。ここで、クラス指導ではなく、個別指導でピンポイントで苦手なところを一気に克服するチャンスです。ぜひ活用してください。

私立・公立高校 入試本番







言うまでもなく、このためにこの1年がんばってきたはずです。ここでしっかりと結果を出しましょう。そのために、少しでも勇気になればと、前日には激励の電話をして、勢いをつけます。

高1春期講習会







能開センターでは、高校入試がゴールとは考えません。合格発表が終わった瞬間から、次に向けての学習の提案もしていきます。年間通じて、高校の情報をいろいろと提供してきます。そして12月～3月には高校部による説明会も開催し、高校生としての学習の仕方をお伝えしていきます。

■ 筆答検査A問題のポイント

H30年度入試問題 筆答検査A 数学

- (1) $n = 7$ のとき、条件 1, 2 の両方を満たす図形は、何種類できるか。答えなさい。また、その図形を、解答用紙の  に 1 種類ずつ、線分のみでかきなさい。ただし、解答用紙の不要な  には、 と大きく  をかき、 が不足する場合は、解答用紙に  を追加して図形をかくこと。
- (2) $n = 23$ のとき、条件 1, 2 の両方を満たす図形は、何種類できるか。理由をつけて、答えなさい。
- (3) $n = 24$ のとき、条件 1, 2 の両方を満たす図形は、何種類できるか。理由をつけて、答えなさい。

H29年度入試問題 筆答検査A 数学

- (1) 図中の 2 階の廊下で、地点 G から出発し、4 つめに通過する地点が E で、この階のすべての区間を通るように移動するには、どのような順で地点を通過すればよいか。次の空欄に当てはまる符号を、それぞれ書きなさい。
- G →  →  →  → E →  →  → 
- (出発する地点) (1つめ) (2つめ) (3つめ) (4つめ) (5つめ) (6つめ) (終わる地点)
- (2) 図中の 2 階の廊下で、地点 H から出発する場合、その階のすべての区間を通るような移動の仕方はない。その理由を説明しなさい。
- (3) 図中の 3 階の廊下では、どの地点から出発しても、その階のすべての区間を通るような移動の仕方はない。そこで、地点 M から出発し、最も多くの区間を通過して、地点 V で終わるよう、通らない区間を決めることにした。このとき、通らない区間はどこか、求めなさい。

[筆答検査Aの数学の特徴]

試行錯誤を繰り返し、規則を見つけるといのが例年のパターンです。

(1)は操作を実際に行う。

(2)は何らかの規則がなぜそのようになるのかの理由を説明する。

※ポイントは【証明する】ではなく【説明する】こと。能開では、この1年間、このパターンを何度も繰り返し訓練しました。平成30年度は、説明問題ではなく、(2)→(3)と徐々に難易度が上がっていく出題形式でした。

なお、この実戦演習講座では、数の問題のみならず、図形などにも対応できるように、さまざまなパターンの問題を用意しています。



H30年度入試問題 筆答検査A 英語

- (1) 表中の A~E には国名が入る。A~E のうち、日本に当てはまるもの一つを選び、その符号を書きなさい。
- (2) 文中の (A) に当てはまる数を、小数第 1 位を四捨五入して整数で答えなさい。
- (3) 海の近くに住む人々が山に木を植え始めたことで、周りの人々はどのように変わったか。50字以内の日本語で書きなさい。
- (4) “People living in the future will use the water we are using now. We have to give them a better future.” とあるが、このことについて、あなたならどのようなことをしたいか。10行以内の英文で書きなさい。

筆答検査Aの英語のポイントは【記述】です。問題文の注釈を参考にしながら、理解し、日本語や英語を使って記述する。とくに自分の考え・意見を記述することが大きな特徴です。

この講座では、このパターンの記述練習を毎週やっていきます。そして毎週のように添削されたものが返却されます。

公立高受験合格実戦演習講座 筆答検査A対策

- (1) 中国語には「お茶」を意味する言葉に 2 つの異なる発音があるが、このことからどのようなことがわかるか。具体的に日本語で書きなさい。
- (2) 千利休は、茶道において大切にしなければならないのはどのようなことであると言っているか、弟子との対話をふまえて具体的に日本語で書きなさい。
- (3) 日本には、茶道のように世界に誇れる文化があるが、あなたが外国の人に一番紹介したい日本の文化は何か、その理由もあわせて英語で書きなさい。

